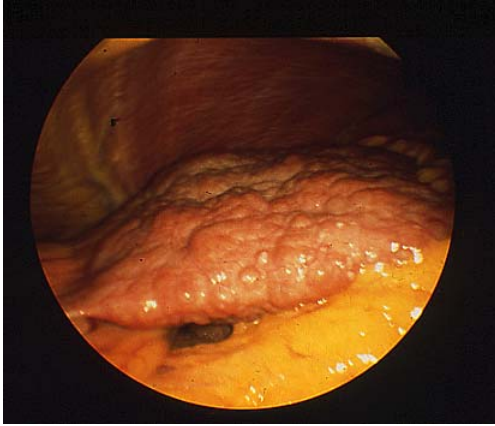


# B型肝炎ウイルス感染者の方へ

B型肝炎ウイルスに感染していると、

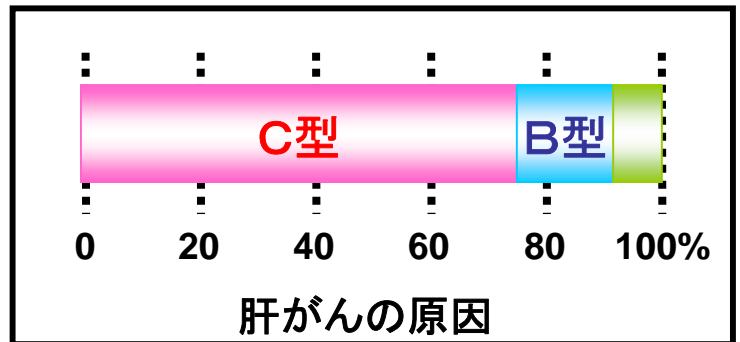


肝硬変の腹腔鏡像

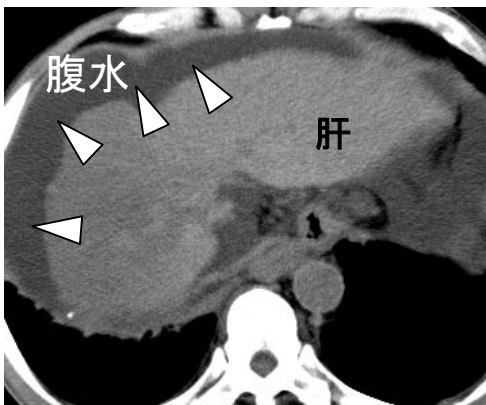
B型肝炎ウイルスに感染している方は慢性肝炎から肝硬変、肝がんへと進行する場合があります。現在日本では悪性腫瘍による死亡順位で、肝がんは男性で第4位、女性で第5位（年間約3万4千人）、また肝不全などの死亡者数も年間約1万5千人です。

定期的な画像検査を受けて下さい

肝がんはかなり進行しないと痛い、だるいなどの自覚症状がでません。早期に発見するには超音波検査、CT、MRIなど画像検査を定期的に行うことが重要です。



B型肝炎は進行が防げる病気です



腹水が出たB型肝炎硬変でもウイルスを抑えて状態を良くできます

B型慢性肝炎はウイルスを完全に排除するのは困難ですが、治療によりウイルスの増殖を抑えて肝炎を沈静化、進行を食い止めるのが可能な病気です。

## B型肝炎は治療が必要な人とそうでない人がいます

### 治療が必要な人

- ウイルス量が多くて肝機能(ALT値)異常値の人
- 進行していて、ときにウイルスが増えて肝機能異常を示す人
- 抗がん剤・免疫抑制剤等の特殊治療をしている人の肝炎再燃予防投与

### 現在治療の必要がない人

- いつもウイルス量が少なくてもいつも肝機能が正常値の人

B型肝炎の85%以上はウイルスの増殖が弱くなって肝炎が自然に沈静化します。この状態が続く人は治療の必要はなく、**定期的な採血・画像検査**で肝炎が再燃しないか、肝がんができていないか経過をみるだけでいいです。**肝炎が落ち着いていると検査を忘れがちになりますので注意しましょう。**

## B型肝炎の治療は進歩しています

治療が必要な人は主に35歳未満の人はインターフェロン療法、35歳以上の人は核酸アナログ製剤が推奨されます。**治療の必要性、治療法の選択は判断が難しいので専門医とご相談ください。**

### B型肝炎の治療法

- インターフェロン療法
- 核酸アナログ  
エンテカビル  
アデフォビル  
ラミブジン

## インターフェロン・核酸アナログ療法には補助制度があります

IFN療法の治療費は高額でしたが平成20年4月より7年間は治療費の**補助制度**があります。収めている税金額に応じて一ヶ月に1万、2万円以上は支払う必要がなくなりました。詳しくはもよりの保健所又は県健康福祉部健康推進課(076-225-1436)にお尋ねください。

## 年1回専門医への受診をすすめています

肝炎の診断、治療はときに難しい場合があります。**厚生労働省のガイドラインでも年1回は専門医を受診することを進めています。**かかりつけ医とぜひご相談ください。